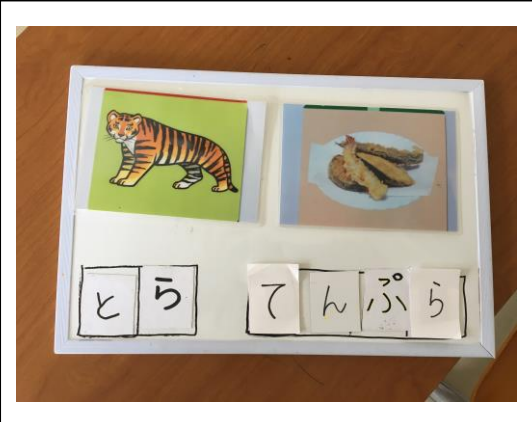
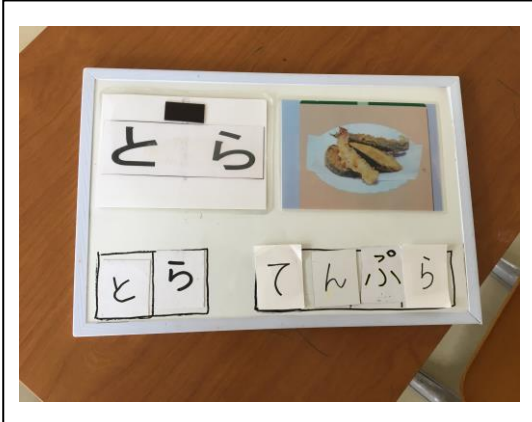


教材名 文字合わせボード	授業名 国語
学部 小学部	
写真（教材、使用場面など）	
	
<p>① 絵を見て文字カードを枠に合わせて並べる。</p> <p>② カードの裏の文字と枠においた文字カードを読み上げながら確認する。</p>	
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵と名称を合わせる。(知っている名称を増やす。)</li> <li>・文字の発音を練習する。</li> <li>・名称の文字を正しく並べる。</li> </ul>	
<p>工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態により、文字の数（枠）や濁音・半濁音を調整して取り組むことができる。</li> </ul>	
<p>活用方法及び児童生徒の様子</p> <p>【児童の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真（絵）カードを見て自分の知っている名称であれば「〇〇」と言って文字カードを並び替え、名称が完成してから一文字ずつ指を折り、再度読みあげて発音していた。知らない名称の時でも自分の知っている言葉をいったん言っていた。教師に正しい名称を教えてもらおうとその名称を言って文字カードを並べ始めていた。</li> </ul> <p>【活用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態を見ながら、「ん」の入った文字や濁音、半濁音の入った名称を取り組ませた。</li> <li>・基本的には児童が一人で取り組むが、発音しにくい名称や順番がわかりにくい時には、ヒントの言葉かけをしたり、絵カードの裏を一緒に確認したりして正しい名称、発音を知ることができるようにした。</li> </ul>	
<p>その他（材料、作成費用、購入先など）</p> <p>ホワイトボード（小）、絵または写真カード（裏面に文字を表示しマグネット）</p> <p>文字カード（裏にマグネット）</p>	